

株主の
皆さまへ

第 **157** 期 中間報告書

2019年4月1日 ▷ 2019年9月30日



住友大阪セメント株式会社

証券コード: 5232

● 株主・投資家の皆さまへ



平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

ここに当社グループの第157期上半期(2019年4月1日から2019年9月30日まで)の業績の概況等につきまして、ご報告申し上げます。

株主の皆さまにおかれましては、今後とも一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

2019年12月

取締役社長 **関根 福一**

● 第157期上半期の経済情勢

当上半期におけるわが国経済は、通商問題の動向が世界経済に与える影響等による景気下振れ懸念があったものの、雇用・所得環境の改善や政府の経済対策等の効果を背景に、緩やかな回復が続きました。

セメント業界におきましては、都市部における再開発工事等により、民間設備投資が増加したことから、民需が増加したものの、官公需が技能労働者の不足等の影響もあり、減少したことから、セメント国内需要は、

前年同期を2.0%下回る20,364千トンとなりました。一方、輸出は、前年同期を4.6%下回りました。この結果、輸出分を含めた国内メーカーの総販売数量は、前年同期を2.3%下回る25,369千トンとなりました。

このような情勢の中で、当社グループは、「2017-19年度 中期経営計画」に基づき、セメント関連事業においては、「海外セメント戦略」・「周辺市場での拡大」・「事業基盤の強化」、高機能品事業においては、「主力製品の増産対応」・「新規事業・新製品の開発」に係る諸施策に取り組んでまいりました。

● 第157期上半期の業績

以上の結果、当社グループの業績につきましては、売上高は、セメント事業等で増収となったものの、建材事業、電池材料事業等で減収となったことから、前年同期に比べ1,073百万円の減収となりました。経常利益は、為替変動の影響等により営業外損益が悪化したこともあり、6,856百万円と前年同期に比べ685百万円の減益となり、また、親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期に固定資産の減損損失を特別損失に計上したこともあり、4,555百万円と前年同期に比べ2,196百万円の増益となりました。

なお、当社は、利益配分に関して、安定的・継続的な配当を、経営全般にわたる諸要素を総合的に判断して決定することとしております。当期の中間配当につきましては、1株につき60円とさせていただきます。

● 第157期通期の見通し

今後のわが国経済は、通商問題を巡る緊張の世界経済に与える影響等によるリスクが引き続き存在するものの、雇用情勢の改善や政府の経済対策等の効果もあり、緩やかな回復が続いていくことが期待されます。

セメント業界におきましては、防災・減災、国土強靱化のための対策等もあり、公共投資が増加することにより、官公需は、増加することが見込まれ、また、都市部における再開発工事等が継続されることにより、民需は、増加することが見込まれることから、内需は、増加するものと思われま

す。当社グループは、2017年度から「2017-19年度 中期経営計画」をスタートさせ、当期が最終年度となります。本中期経営計画では、セメント関連事業および高機能品事業の両事業分野で、市場を拡大し、安定的に成長し続ける企業グループとなることを将来目指すべき方向性としております。

セメント関連事業(セメント・鉱産品・建材)については、単独で成長の見込みにくい分野であり、各事業のシナジーにより周辺市場を開拓・拡大することで成長を目指すとともに、海外市場についてもその一市場と捉え、開拓を進めております。高機能品事業(光電子・新材料・電池材料)については、個別に市場の成長が見込まれる分野であり、その市場拡大に合わせた積極的な増産対応をすることで成長を目指すとともに、既存製品の周辺領域での新規事業・新製品の開発を行うことで継続的成長を目指しております。

引き続き、事業環境の変化に柔軟に対応し、適切な対策をとりつつ、これらを着実に実施してまいります。

売上高

119,837百万円

前年同期比**1,073**百万円(0.9%)減

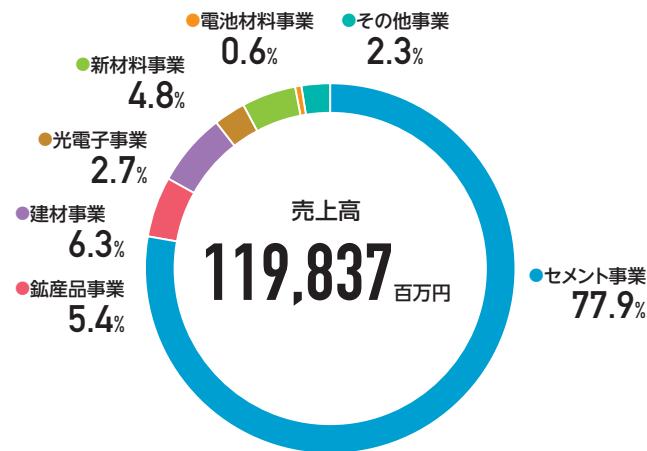
経常利益

6,856百万円

前年同期比**685**百万円(9.1%)減

● 事業別概況

売上高構成比



セメント事業

ポルトランドセメント(普通、早強、中庸熱、低熱)、高炉セメント、フライアッシュセメント、セメント系固化材、生コンクリート、電力の供給、原燃料リサイクル

● 第2四半期売上高
93,384百万円
前年同期比
134百万円(0.1%)増 ▲

● 第2四半期営業利益
2,857百万円
前年同期比
2百万円(0.1%)増 ▲

国内販売数量が前年同期を上回ったことなどから、売上高は、93,384百万円と前年同期に比べ134百万円の増収となり、営業利益は、2,857百万円と前年同期に比べ2百万円の増益となりました。



光電子事業

光通信部品、光計測機器、光送受信機

● 第2四半期売上高
3,184百万円
前年同期比
610百万円(23.7%)増 ▼

● 第2四半期営業利益
28百万円
前年同期比
229百万円増 ▼

新伝送方式用光通信部品の販売数量が増加したことから、売上高は、3,184百万円と前年同期に比べ610百万円の増収となり、営業利益は、生産コストの改善などもあり、28百万円と前年同期に比べ229百万円の好転となりました。



新材料事業

各種セラミック製品、各種ナノ粒子材料、抗菌剤、化粧品材料、各種機能性塗料、防汚塗料、熱線遮蔽塗料

● 第2四半期売上高
5,707百万円
前年同期比
256百万円(4.3%)減 ▼

● 第2四半期営業利益
946百万円
前年同期比
258百万円(21.4%)減 ▼

熱線遮蔽フィルムの生産・出荷を終了したことなどから、売上高は、5,707百万円と前年同期に比べ256百万円の減収となり、営業利益は、生産コストが増加したことなどから、946百万円と前年同期に比べ258百万円の減益となりました。



鋳産品事業

石灰石、ドロマイト、タンカル、骨材、シリカ微粉

● 第2四半期売上高
6,426百万円
前年同期比
159百万円(2.5%)増 ▼

● 第2四半期営業利益
1,219百万円
前年同期比
91百万円(8.1%)増 ▼

海外および国内鉄鋼向け石灰石の販売数量が前年同期を上回ったことなどから、売上高は、6,426百万円と前年同期に比べ159百万円の増収となり、営業利益は、1,219百万円と前年同期に比べ91百万円の増益となりました。



建材事業

コンクリート構造物補修・補強(材料、工事)、各種混和材、重金属汚染対策材、魚礁・藻場礁、電気防食工法、各種地盤改良工事、PC(製品、工事)、各種ヒューム管

● 第2四半期売上高
7,562百万円
前年同期比
953百万円(11.2%)減 ▼

● 第2四半期営業利益
490百万円
前年同期比
194百万円(65.7%)増 ▼

地盤改良工事が減少したことなどから、売上高は、7,562百万円と前年同期に比べ953百万円の減収となったものの、コンクリート構造物補修・補強材の販売数量が増加したことなどから、営業利益は、490百万円と前年同期に比べ194百万円の増益となりました。



電池材料事業

二次電池正極材料

● 第2四半期売上高
717百万円
前年同期比
450百万円(38.6%)減 ▼

● 第2四半期営業利益
16百万円
前年同期比
53百万円増 ▼

二次電池正極材料の販売数量が減少したことから、売上高は、717百万円と前年同期に比べ450百万円の減収となり、生産コストが改善したことなどから、損益は、前年同期に比べ53百万円の好転となったものの、16百万円の営業損失となりました。



その他事業

不動産賃貸、エンジニアリング、ソフトウェア開発

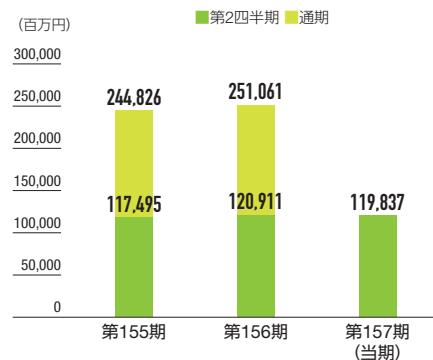
● 第2四半期売上高
2,854百万円
前年同期比
317百万円(10.0%)減 ▼

● 第2四半期営業利益
867百万円
前年同期比
177百万円(25.8%)増 ▼

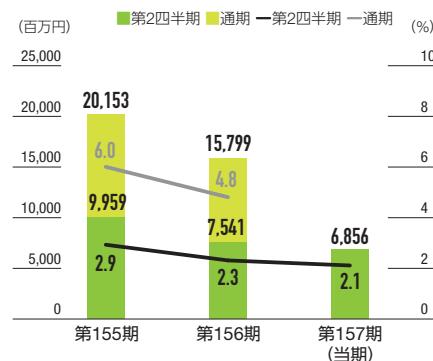
電気設備工事が減少したことなどから、売上高は、2,854百万円と前年同期に比べ317百万円の減収となったものの、コスト削減等により、営業利益は、867百万円と前年同期に比べ177百万円の増益となりました。

● 業績ハイライト(連結)

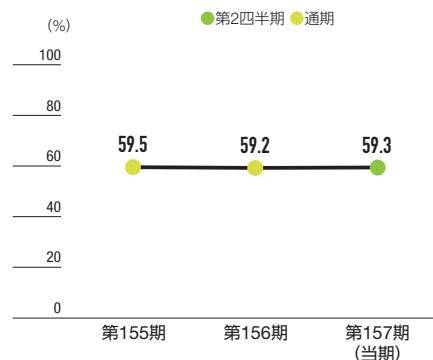
売上高



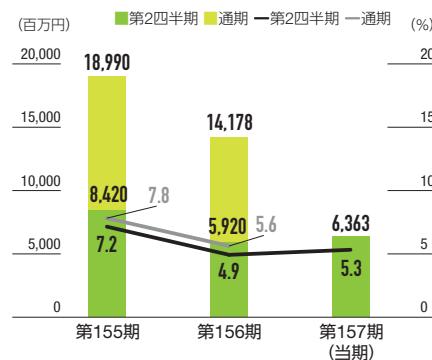
経常利益/ROA



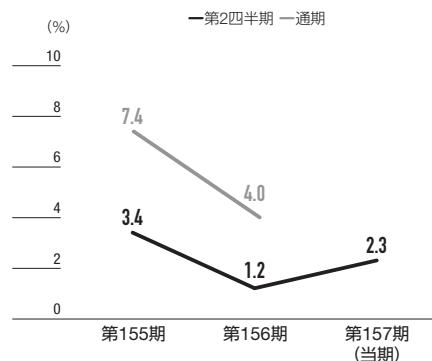
自己資本比率



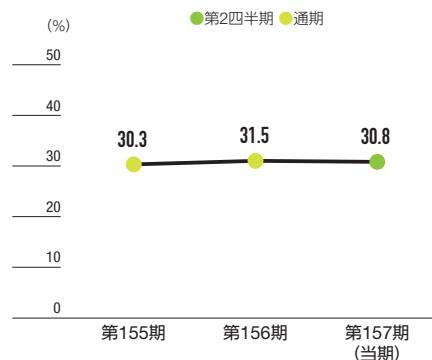
営業利益と営業利益率



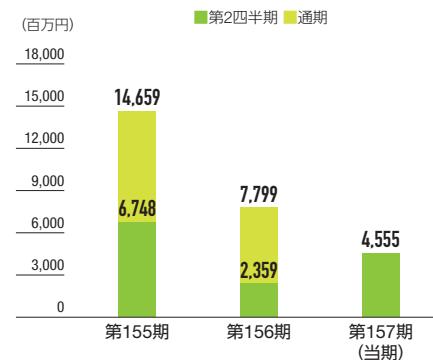
ROE



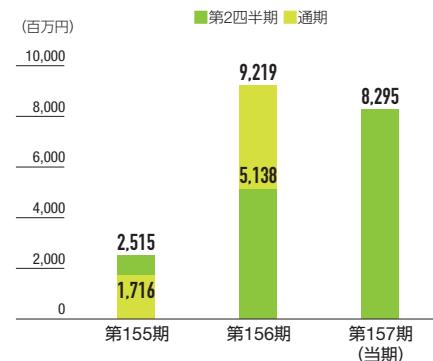
DEレシオ



親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益



フリーキャッシュ・フロー



IRサイトのご紹介

▶ より詳細な財務情報については当社ホームページ「IR資料室」ページをご参照ください。

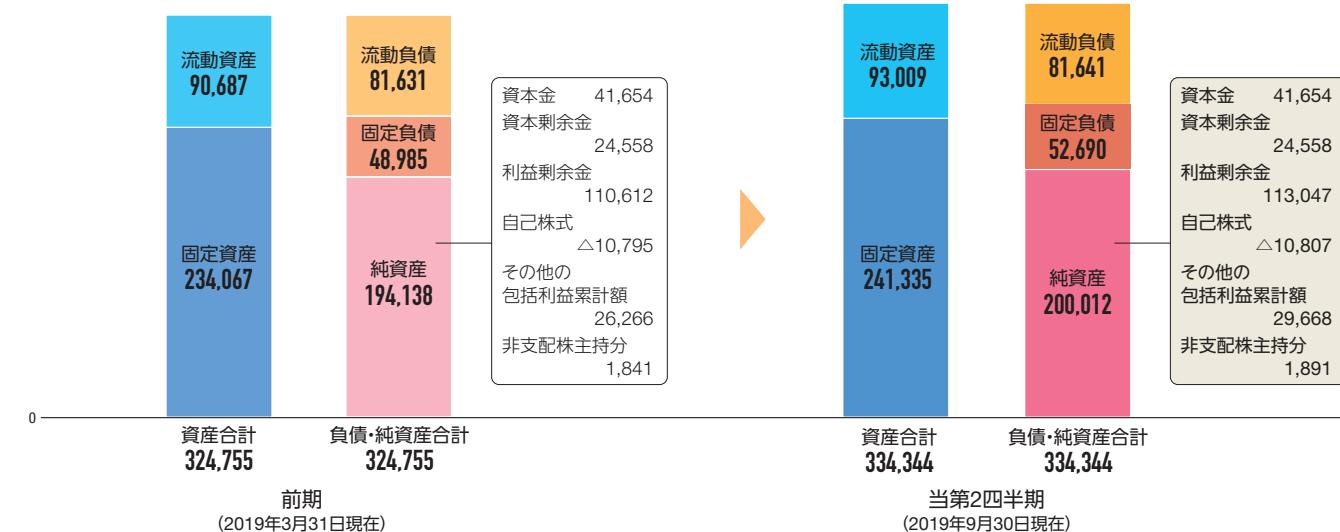
住友大阪セメント IR 検索

<https://www.soc.co.jp/ir/document/>

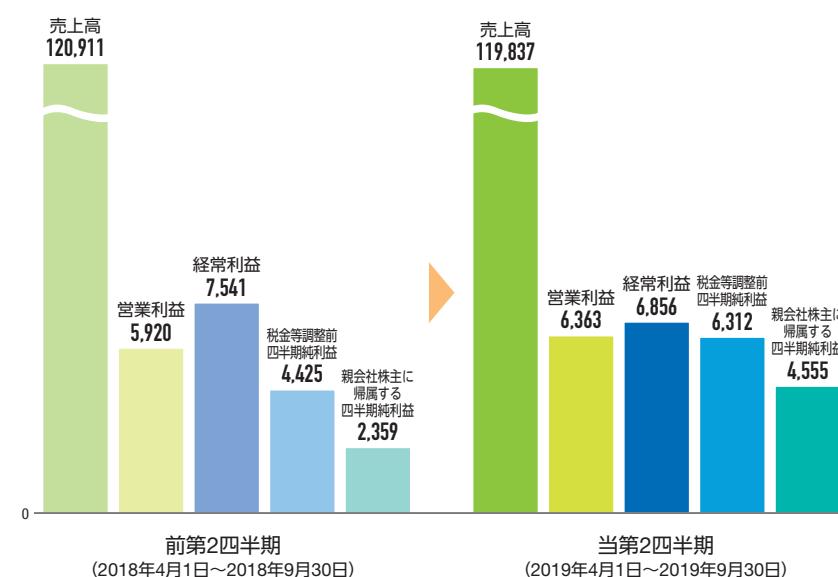
(注)「[税効果会計に係る会計基準]の一部改正」(企業会計基準第28号2018年2月16日)等を第156期の期首から適用しており、第155期第2四半期および第155期通期に係るROAおよび自己資本比率については、当該会計基準等を遡って適用した後の指標となっております。

● 連結財務諸表

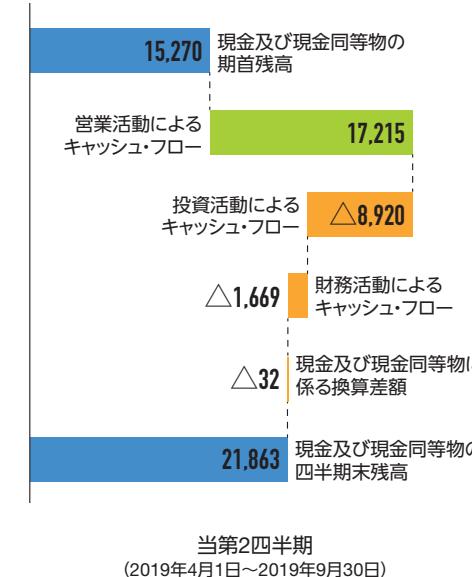
連結貸借対照表の概要(単位:百万円)



連結損益計算書の概要(単位:百万円)



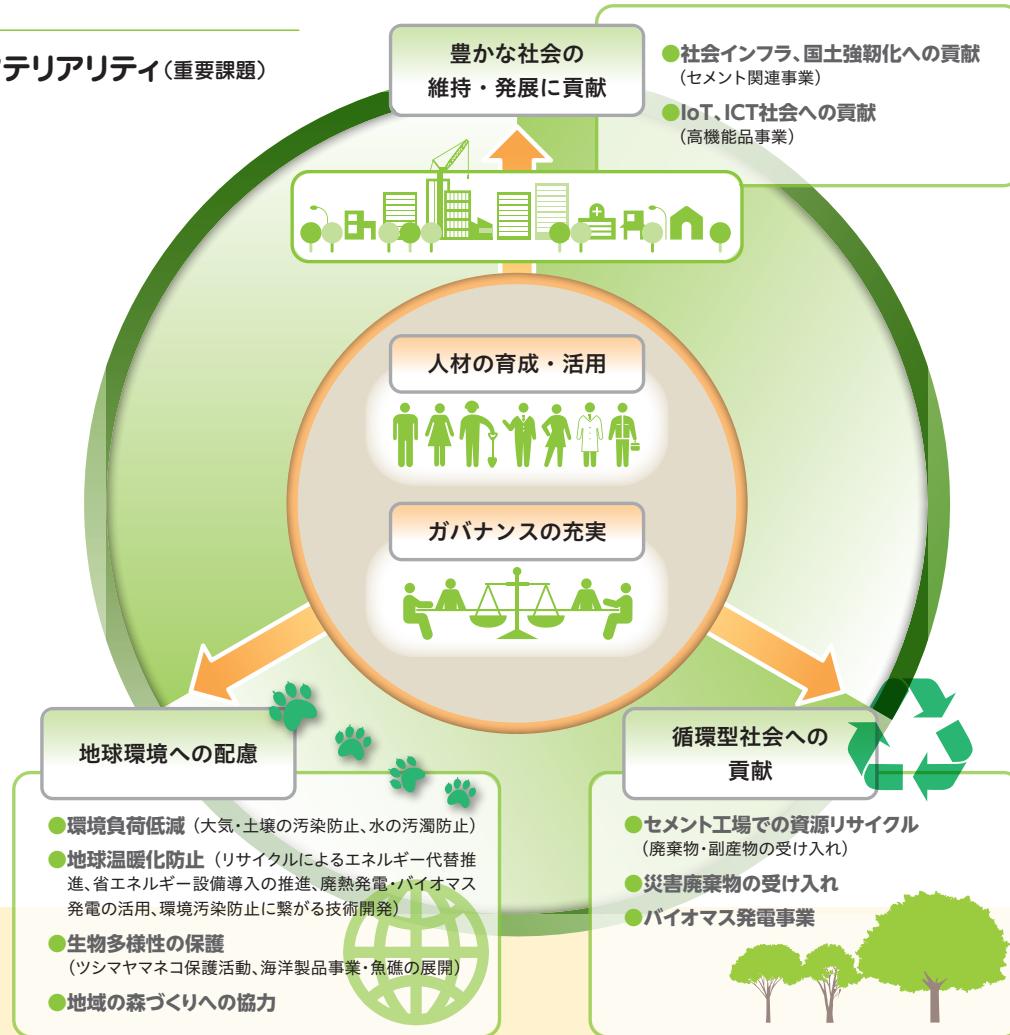
連結キャッシュ・フロー計算書の概要(単位:百万円)



住友大阪セメントグループは、企業活動を通じて重点的に取り組む社会課題として5つのマテリアリティを特定しました。マテリアリティへの取り組みは、当社グループの成長と社会課題の解決を両立するもので、中長期の経営戦略の基盤となるものです。

当社グループのマテリアリティは、当社グループの企業理念を踏まえ従来から継続してきた事業やCSR活動に基づき、社内外のステークホルダーの関心や期待を反映したうえで決定しました。

5つのマテリアリティ(重要課題)



解説 住友大阪セメントグループの5つのマテリアリティ

1 豊かな社会の維持・発展に貢献

社会インフラを構築するために不可欠で、国民の安全・安心を守る国土強靱化に貢献するセメント製品・サービスの安定供給と、より便利で快適なIoT・ICT社会に必要な高機能品事業の展開を通して、イノベーションを支え、豊かな社会の維持・発展を目指します。また、研究・開発を継続して行い、製品の安全と品質を高めていきます。

2 地球環境への配慮

環境負荷の少ない生産・発電・物流を追求して、地球環境保全を図ります。鉱山では資源開発を緑化等による森林復元とともに行い、工場・事業所ではエネルギーの効率的な利用、温室効果ガス排出削減、大気・水・土壌の汚染防止を進めていきます。

3 循環型社会への貢献

セメント製造を通して、産業廃棄物・副産物を、安全かつ大量にリサイクルして、循環型社会に貢献します。また、バイオマス発電事業により、地域の間伐材等を受け入れ、クリーンエネルギー創出の役割を担っていきます。

4 人材の育成・活用

社員向け研修や、ダイバーシティ推進など諸施策を通して、人材の育成と活用を図ります。各職場では安全への取り組みを実施し、人権を尊重し、従業員が心身ともに健康に働けるような環境づくりを推進します。

5 ガバナンスの充実

企業経営を規律する仕組みであるコーポレートガバナンスの充実により、経営の効率性を向上させるとともに、コンプライアンスを徹底することにより経営の健全性と透明性を確保し、継続的な企業価値の向上を実現させます。

重点的に取り組むSDGs

9 産業と技術革新の基盤をつくろう	11 住み続けられるまちづくりを
7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに	13 気候変動に具体的な対策を
12 つくる責任 つかう責任	

SDGsとは

2015年に国連で採択されたSDGs(持続可能な開発目標)は、より良い未来を実現するために、17のゴールと169項目のターゲットで構成され、経済・社会・環境をめぐる広範囲な課題に取り組むものです。



統合報告書の紹介

特定したマテリアリティおよびSDGsのゴールは、当社ホームページに公開している統合報告書で紹介しています。



<https://www.soc.co.jp/ir/document/document06/>

● 会社概要 / 株式の状況 (2019年9月30日現在)

会社概要

商号 住友大阪セメント株式会社
Sumitomo Osaka Cement Co.,Ltd.

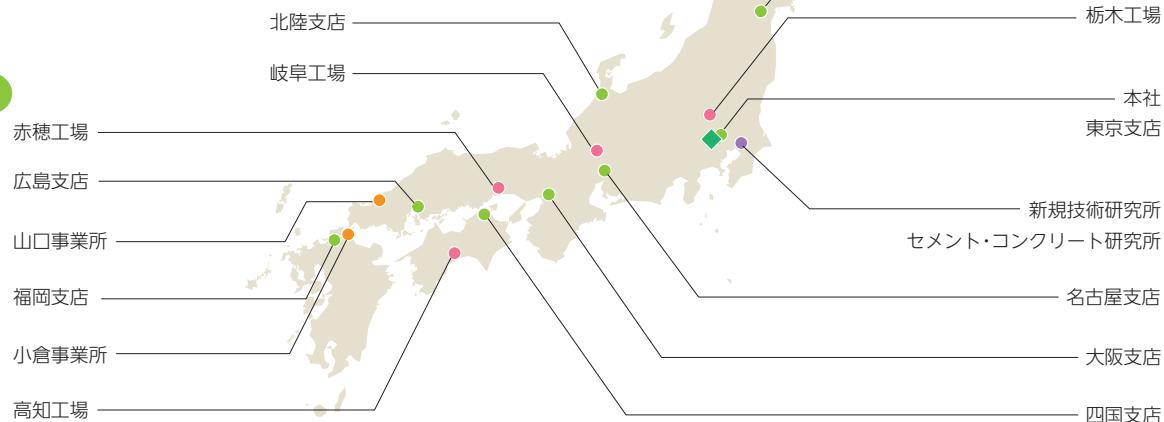
設立年月日 1907年11月29日

資本金 416億円

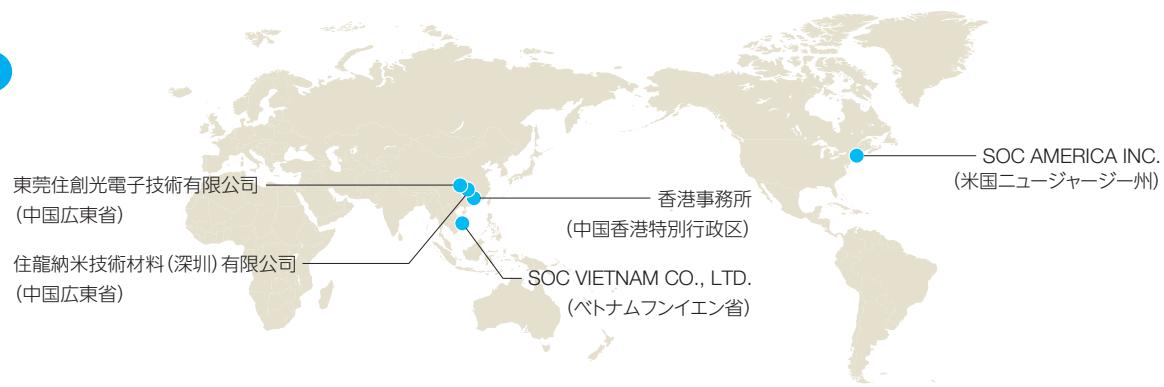
従業員数 1,215名

主な事業所

国内拠点



海外拠点

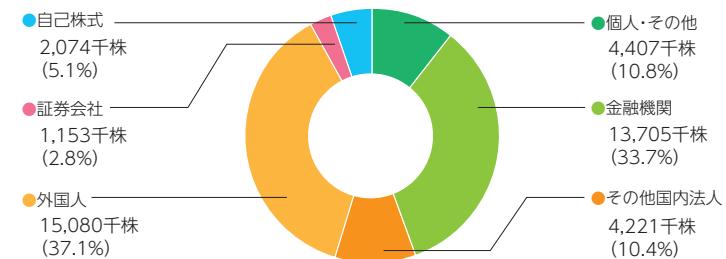


役員および執行役員

※ 取締役社長 関根福一 常務執行役員 小木亮二
 ※ 取締役専務執行役員 大西利彦 執行役員 内村典文
 取締役常務執行役員 小西幹郎 執行役員 下モ真史
 取締役常務執行役員 諸橋央典 執行役員 島田徹行
 取締役常務執行役員 土井良治 執行役員 小堺規行
 取締役常務執行役員 青木秀起 執行役員 関本正毅
 取締役 齊田國太郎 執行役員 小野昭彦
 取締役 牧野光子 執行役員 元木徹
 監査役(常勤) 伊藤要章
 監査役(常勤) 高瀬芳章
 監査役 友澤史紀
 監査役 保坂庄司
 監査役 鈴木和男

(注) 1. ※印表示は、代表取締役を示します。
 2. 取締役のうち齊田國太郎および牧野光子の両氏は、社外取締役であります。
 3. 監査役のうち友澤史紀、保坂庄司および鈴木和男の3氏は、社外監査役であります。
 4. 監査役友澤史紀氏は、2019年11月8日に逝去され、退任いたしました。

所有者別分布状況



IRカレンダー



株式の状況

発行可能株式総数 130,000,000株
 発行済株式の総数 40,643,217株
 (うち自己株式2,074,576株)
 株主数 23,379名

大株主の状況

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	3,934	10.2
NORTHERN TRUST CO. (AVFC) RE SILCHESTER INTERNATIONAL INVESTORS INTERNATIONAL VALUE EQUITY TRUST	3,390	8.8
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	2,816	7.3
NORTHERN TRUST CO. (AVFC) RE U. S. TAX EXEMPTED PENSION FUNDS	1,771	4.6
NORTHERN TRUST CO. (AVFC) RE THE KILTEARN GLOBAL EQUITY FUND	1,191	3.1
NORTHERN TRUST CO. (AVFC) SUB A/C NON TREATY	1,156	3.0
NORTHERN TRUST CO. (AVFC) RE IEDU UCITS CLIENTS NON LENDING 15 PCT TREATY ACCOUNT	1,043	2.7
住友生命保険相互会社	852	2.2
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口5)	776	2.0
住友商事株式会社	718	1.9

(注) 1. 当社は、自己株式2,074,576株を保有しておりますが、上記の大株主から除外しております。
 2. 持株比率は、発行済株式の総数から自己株式数(2,074,576株)を除いた数に基づき、算出しております。

株式のご案内

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	定時株主総会 毎年3月31日 期末配当金 毎年3月31日 中間配当金 毎年9月30日 ※その他必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日

公告の方法	電子公告 (公告掲載アドレス http://www.soc.co.jp/frame08.html) ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合には、東京都において発行する日本経済新聞に掲載して行います。
-------	--

株主名簿管理人 および特別口座の 口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
-------------------------------	-----------------------------------

株主名簿管理人 事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
-------------------	---

(郵便物送付先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
----------	--

(電話照会先)	 0120 (782) 031
---------	---

(インターネットホームページ)	https://www.smtb.jp/personal/agency/index.html
-----------------	---

上場金融商品取引所	東京証券取引所
-----------	---------

単元株式数	100株
-------	------

株式に関する住所変更等のお手続きについてのご照会

証券会社の口座をご利用の株主様は、三井住友信託銀行株式会社ではお手続きができませんので、取引証券会社へご照会ください。
証券会社の口座をご利用でない株主様は、上記電話照会先までご連絡ください。

▶ ホームページのご案内

<https://www.soc.co.jp>

住友大阪セメント

検索



● 株式に関する「マイナンバー制度」のご案内

市区町村から通知されたマイナンバーは、株式の税務関係のお手続きが必要となります。このため、株主様から、お取引の証券会社等へマイナンバーをお届いただく必要がございます。

株式関係業務におけるマイナンバーの利用

法令に定められたとおり、支払調書には株主様のマイナンバーを記載し、税務署へ提出いたします。

主な支払調書

- * 配当金に関する支払調書
- * 単元未満株式の買取請求など株式の譲渡取引に関する支払調書

マイナンバーのお届出に関するお問い合わせ先

証券口座にて株式を管理されている株主様：お取引の証券会社までお問い合わせください。
証券会社とのお取引がない株主様：下記のフリーダイヤルまでお問い合わせください。

三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
フリーダイヤル 0120 (782) 031

 住友大阪セメント株式会社

〒102-8465 東京都千代田区六番町6番地28
Tel. 03 (5211) 4500 (代表)

 UD FONT

見やすく読みまちがえにくいユニバーサル
デザインフォントを採用しています。



環境に配慮したFSC®認証紙と植物油インキを使用しています。

